

立命館大学アート・リサーチセンター
 文部科学省 共同利用・共同研究拠点「日本文化資源デジタル・アーカイブ研究拠点」
 2017 年度 共同研究成果報告書〔研究費配分型〕

2018 年 4 月 23 日 提出

1. 研究課題名	
ARC データベースを利用した博物館アーカイブスの整理および情報公開に関する研究 (英文標記: _____)	
2. 研究代表者	
氏名(ふりがな)	所属機関・職名
Timothy Clark (ティモシー・クラーク)	大英博物館アジア部・日本セクション長
3. 研究分担者 (合計: _____ 名) ※アート・リサーチセンター所属者は、「ARC 所属教員欄」に○印を付してください	
氏名(ふりがな)	所属機関・職名
Nicole Rousmaniere (ニコル・ルー マニエール)	大英博物館・アジア部日本セクション学芸員
Roger Keys (ロジャー・キーズ)	浮世絵研究家
赤間 亮(あかま・りょう)	大阪大学・立命館大学・教授
Ariadne Schulz(アリアドネ・シュル ツ)	大英博物館・アジア部日本セクションプロジェクトキュレーター
Daniel Pett(ダニエル・ペット)	大英博物館・Senior Digital Humanities Manager
松葉 涼子(まつば・りょうこ)	ロンドン大学 SOAS・リサーチアシスタント

4. 研究課題の概要(300 字程度) (申請書から変更がある場合は、変更点分かるように明記してください)
<p>大英博物館では、2007 年度よりはじめられた立命館大学 ARC との共同プロジェクトにおいて所蔵作品のデジタルアーカイブ化を効率よくすすめてきた。一方で、当館には所蔵作品に関連するアーカイブス資料が多く残されており、その整理と公開方法についてはまだ課題が多い。</p> <p>特に近年寄贈されたロジャー・キーズ氏の北斎一枚摺のカタログ・レゾネをはじめ 19 世紀から博物館に保管されているフランスのアーカイブ資料など歴史的、資料的価値が非常に高いものについては、早急な資料公開が望まれている。本プロジェクトでは、立命館大学 ARC の日本美術品アーカイブ活動の成果を応用しながら博物館アーカイブスのデジタル化、研究利用しやすい形での情報公開を目指す。</p>
5. 研究成果の概要 (この項は、本センターのホームページ・紀要等で公開することがあります)

2017 年度はキーズ・モース氏の北斎一枚摺のデータをデジタル化し、その情報公開まで進めることができた。実際の作業にあわせて博物館内でアーカイブス資料公開の前例がなく情報公開にあたる様々な取り決めを形作ることに予想外の時間を要した。特に時間がかかったのは、複製作品に関する記述である。中には特定のプライベートコレクションに対して、複製と記されており、大英博物館としては個人のコレクションに対する評価に関わることは公開できないということになった。

博物館資料は基本的にはパブリックのものであり、すべてが公開されるものであるが web 上を通して博物館では管理できない範囲にまで影響が及ぶことを考慮しての決断である。しかしながら、博物館がオリジナルの資料に手を加えることは望ましくない。オリジナルを編集するのではなく、オリジナルのテキストのデジタルコピーを作成し(電子テキスト)そこに編集を加えること、また web 上で公開できない情報についてはその理由を明記することで、博物館の情報公開の姿勢に影響がでないようなやり方にする必要があるであった。以上の話合いについては ARC 赤間教授からのアドバイスを適宜得ながら日本セクションと大英博物館法務部との間で議論を重ね、デジタルテキストの公開方法については ARC の協力を得てすすめた。本件に関する内容の詳細についてはホームページ(<https://www.latehokusai.org/catalogue-link-and-disclaimer>)で確認できる。

6. 研究業績

(1) 著書

・「Hokusai: Beyond the Great Wave」、共著 Timothy Clark 編 (他著者、Angus Lockyer, Alfred Haft, Roger Keys and Matsuba Ryoko)、2017 年 5 月、Thames & Hudson、352 頁

(2) 論文

・「縮模版 富嶽三十六景をめぐる」、単著松葉涼子、2018 年 3 月、太田記念美術館『太田記念美術館紀要 浮世絵研究 第 8 号』

(3) 研究発表等

・Timothy Clark 「Late Hokusai: thought, technique, society 北斎の晩年—思想、技術、社会」、2017 年 10 月、北斎—富士を越えて—展覧会シンポジウム、あべのハルカス美術館、査読無

(4) 主催したシンポジウム・研究会等

・「Hokusai: Beyond the Great Wave」、大英博物館、2017 年 5 月 23 日～8 月 13 日、149,800 人、大英博物館

・シンポジウム「Late Hokusai: thought, technique, society」、大英博物館、2017 年 5 月 26-27 日、130 人、大英博物館

(6) 受賞学術賞

・英国日本大使館、2017 Foreign Minister's Commendations、2017 年 11 月 (Timothy Clark)